

目 次

はしがき

第 1 部 目的からみる社会保障法 ——新たな体系の模索——

社会変動と社会保障法	山田 晋	3
——その範囲と法体系		
1 はじめに——社会変動と社会保障		3
2 社会保障の変容——その範囲と体系		5
3 検 討——体系論と社会保障の範囲		9
4 展 望——社会変動と社会保障の新たな方向		10
グローバル化と社会保障	松本 勝明	17
1 経済活動と法		17
2 社会保障と国民国家		18
3 グローバル化による影響と対応策		20
4 社会保障制度のハーモナイゼーション		24
5 社会保障制度のコーディネーション		27
6 む す び		29
所得保障法における最低所得保障の課題	阿部 和光	33
1 はじめに——本稿の目的		33
2 目的別区分説と所得保障法		34
3 最低所得保障法と保護基準の課題		37
4 所得維持保障法と最低年金保障		43

5 おわりに 48

健康保障法……………石田 道彦 51

——目的別区分説による疾病予防・健康増進施策の検討

- 1 はじめに 51
- 2 目的別区分説における健康保障法 52
- 3 健康保障法の構造と課題 55
- 4 おわりに——公衆衛生施策と健康保障法 63

生活自立支援保障法における教育保障の展開……………平部 康子 67

——子どもに対する教育支援給付を素材に

- 1 はじめに 67
- 2 社会保障法学における教育支援 68
- 3 教育支援給付の展開 71
- 4 教育保障の特質と教育支援給付の類型 75
- 5 教育保障の課題 77
- 6 おわりに 78

労働自立支援保障法の現代的意義……………丸谷 浩介 81

——生活困窮者自立支援法を中心に

- 1 はじめに 81
- 2 労働 82
- 3 自立と保障 84
- 4 生活困窮者自立支援法における労働自立支援保障の構造 91
- 5 おわりに 94

社会保障法における権利擁護……………西田 和弘 98

——目的別法体系と社会変化を踏まえた概念

- 1 はじめに 98
- 2 社会保障法学における権利擁護研究 99
- 3 社会変化と権利擁護 104
- 4 社会保障法における権利擁護概念——再考 108
- 5 むすびにかえて 109

アフターコロナのベーシック・インカム論	石橋 敏郎	115
1 はじめに		115
2 ベーシック・インカム、その内容、背景、考察の視点		116
3 ベーシック・インカムの「目的」をめぐって		120
4 新型コロナウイルス感染症対策とベーシック・インカム		124
5 おわりに		127
社会保障法における住宅保障	原田啓一郎	131
1 はじめに		131
2 社会保障法学における住宅保障の議論		132
3 近年の住宅保障関連諸立法の展開		135
4 これからの住宅保障を考える視点と具体的課題		139
5 むすびにかえて		145
生活自立支援保障法における犯罪をした者	木村 茂喜	148
1 はじめに		148
2 生活自立支援保障法の主体としての犯罪をした者		149
3 生活自立支援にかかる犯罪をした者の権利		151
4 むすびにかえて		159
社会法基本原理の再検討	柴田 滋	164
1 実定法に対する二面の要請		164
2 資本主義実体法——現代法の現実的前提		165
3 市民法の統一原理とその現実的機能		170
4 社会法の原理と原理論的定義		172
5 社会法原理の展望		176

第 2 部 社会変動と社会保障法の展開

デジタル化と社会保障法	伊奈川秀和	183
——データの医療費適正化への利活用を巡る論点		
1 はじめに		183
2 社会保障におけるインセンティブ制度の位置づけ		185
3 予防・健康づくりに係るインセンティブ制度の類型		188
4 医療保険におけるインセンティブ制度の論点		190
5 医療費適正化の中のインセンティブ制度の論点		194
6 まとめ		196
介護者の権利	増田 雅暢	199
——日本とドイツの比較考察		
1 はじめに		199
2 介護者の現状		200
3 介護者の権利の内容		202
4 日本の介護保険法における介護者の位置づけ		205
5 ドイツ介護保険法における介護者の位置づけ		207
6 日本とドイツにおける介護者の権利に関する比較考察		211
業務上疾病の範囲と行政規則の機能	笠木 映里	215
1 はじめに		215
2 職業疾病の範囲の設定・拡大にかかる認定基準の役割		216
3 職業疾病の認定基準と司法審査		221
4 検 討		223
保険診療契約主体（緒論）	高倉 統一	230
緒 言		230
1 契約主体論の意味		230

2	接近法、または本論の構成	232
3	診療契約の意義	239
	社会変動と国民年金保険料の免除等の課題 …………… 星野 秀治	246
	——軽度の障害者等の排除を中心に	
1	本稿の目的と概要	246
2	国民年金保険料の免除等の特徴について	246
3	2000年から2020年までの国民年金保険料の免除等についての動向	248
4	課題の検討——軽度の障害者等の公的高齢給付からの排除の拡大	253
5	おわりに	258
	社会モデルから見た障害者就労支援 …………… 福島 正剛	262
1	はじめに	262
2	保護雇用 (sheltered employment) および支援付き雇用 (supported employment) に対する障害の社会モデルの観点からの評価——アメリカ、イギリスを例に	262
3	わが国の障害者就労支援における社会的障壁とその縮減	266
4	おわりに	272
	障害者就労における働き方の変化 …………… 廣田久美子	275
	——訓練等給付	
1	はじめに	275
2	ドイツにおける障害者就労支援とデジタルイゼーション	276
3	ドイツ障害者就労支援における変化	280
4	訓練等給付の現状と課題	284
5	まとめにかえて	287
	河野正輝先生 略歴及び研究業績	